

特43  
897

非  
賣  
品

二卷鈔二種深信講錄



018916-000-5

特43-897

二卷鈔二種深信講錄

東陽 円月 / 著

M22.10

ABF-2392





特 43  
897

No 22404 / 22



二卷鈔二重深信

東陽園月講



此鈔ノ中二種深信ノ御釋ソノ二重アリ初並ハ二種一具  
 約シ後並ハ二種分離ニ約ス此義ヲ辨セントスルニ先汎  
 シ二種深信ノ義趣ヲ辨シ而シ後ニ文ニ就テソノ義ヲ辨セ  
 シ初ニ汎シ二種深信ノ義趣ヲ辨スルニ五科ヲ分ツ一辨ニ  
 種所據ニ辨機法分齊三辨ニ種一具四辨開示所由五辨後續  
 相狀此中初ノ三科ハ先師本刹ニ在テ宗義ノ正邪ヲ監督セ  
 シ時講述セシ聞書ニ依テ更ニユレテ潤色シテ辨スルノミ  
 初二種所據者終南大師深信釋ニ於テ機法二種深信ノ義ヲ  
 述ヘ玉フテヨリ已來一家相承シテ安心ノ軌則トスル吉水  
 大師ハ建立二種信心決定九品往生トノ玉ヒ祖師已來相承  
 弘願他力ノ信心ヲ顯スニハユノ二種深信ヲ以テ眞實信

正誤

題號重ハ種十二行 登丁左乃ハ衍三行 二丁右 講ハ尋同左 師決下  
 脫定 六丁右 同左 順ハ訓 同左 別下脫ト 八丁左  
 十三行 粵母 十行 十三行 別下脫ト 四行  
 九丁左 同左 同左 目ハ因 十一行 右スハス 十二行 例ハ例  
 四行 九行 十一行 目ハ因 十一行 右スハス 十二行 例ハ例  
 十三左 ヨ、下脫ト 十四丁 ト下脫キ 同 八行 ヤトハトキ 轉倒  
 十二行 左七行 十六 同右 矢ハ失 同右 地々ハ地獄  
 十三行 度ノ下脫ハ 六二行 三行 六行 同右 地々ハ地獄  
 同左 減ハ減 十七 若ハ若 同左 十 同左 十八  
 七行 同左 減 十七 若ハ若 同左 十 同左 十八  
 九行 同左 亦ハ亦 二十 案ハ句 二十一 同 八 同右 下  
 脫信 同左 下脫ト 八行 同左 七行 同左 可下脫見



心ノ相ヲ述玉ヨ今日ニ至ルマテ善知識ノ化導職トシテ之  
ニ由ル然ルニ終南大師創テ二種深信ノ義ヲ分別シ玉フニ  
非ス文ハ終南ニ出レトモソノ義ハ他力信心本然固有ノ義  
ナリ固有ノ義ヲ述玉フカ終南ナリ故ニソノ義ハ願海ヨリ  
シテ固ヨリ備足スル所ノ二種深信ナリ何者苟セ自力ノ信  
ナラハ止ナン他力回向ノ信心ナレハ二種ナクハアルヘ  
カラスユノ二種ノ信只是一信心ノ妙味ナリ自力ヲ捨ルト  
キハ必信機具スル他力ニ皈スルハ即信法ナリユレテ經文  
ニ求レハ彌勒ノ領解即是二種深信ナリ經云汝及十方諸天  
人民一切四衆永劫已來展轉五道屢長勤苦不可具言乃至今  
世生死不絶與佛相值聽受經法又復得聞無量壽佛<sup>乃</sup>  
行不敢有疑文此中展轉五道等ト説玉フカ機相ヲ説ナリ乃  
永劫已來展轉五道ト云モノ散善義ニ所謂曠劫已來常沒常

流轉ナリ乃至今世生死不絶ト云モノ現是罪惡生死凡夫ナ  
リ得聞無量壽佛ハ乃今ノ阿彌陀佛四十八願攝受衆生ノイ  
ハレテ聞ナリ釋導ユノ機法ノ相ヲ説テ彌勒如教奉行不敢  
有疑ト領解シ玉フユノ不敢有疑即機法二種ノ深信ナリ觀  
經ノ中章提見無量壽佛已ト云モソノ見ノ意味ヲ尋ルトキ  
ハ二種深信ノ外ナシユノ二種深信モト機法二實ノ法義ヨ  
リ出タルモノナリ機ノ真實ヲ受タルカ機ノ深信ナリ法ノ  
真實ヲ受タルカ法ノ深信ナリユレテ三經ニ渡テ云ヘハ大  
經ハ法實ニシテ攝受衆生ノ願力ヲ説玉フ觀經ハ機實ニシ  
テ極惡ノ劣機本願ノ正爲ナルコトヲ示シ玉フユノ機コノ  
法ヲ受ユノ法ユノ機ヲ救フニ聊カ疑フヘキコトナキ故ニ  
深ク信スヘシト勸ルカ小經ノ諸佛證誠ナリユノ誠言ニ依  
テ疑闇全ク晴レテ如實ニ信受セラレタルカ機法二種ノ信



心領解ナリソノ意味ヲ詳ニ顯シタカ終南ノ深信釋ナリ初  
祖易行道ヲ求ル機ヲ眩シテ作弱法劣ニシテ大心アルコト  
ナシト云ナカラ自ラソノ人ニ同シテ彌陀易行ニ皈入シ玉  
フ信機信法自ラ具足スルナリ初祖ヨリシテソノ意ハ具テ  
アレトモ文ハ明ニナシユ、チカ、ケ顯シタルカ終南ノ功  
ナリ故ニ吉水大帥ハ建立二種信心決九品往生ト讚シ玉フ  
一家相承シテ他力信心ノ模範トシ玉フハコノイハレナリ  
二辨機法分齊者就機三アリ一衆生本分機二自力計度機三  
法休成就機初ニ衆生本分ノ機トハ疏ニ無有出離之緣ト云  
禮讚ニ不出三界ト云是即眞如ノ理ニ背テ迷倒セルチ本分  
ノ機ト云フ顯名鈔ニ衆生一念ノ迷妄ニヨリテ眞如ノミヤ  
ユチマヨヒイテ流轉ノ凡夫トナリシヨリコノカタ久シク  
塵勞ニオホハレテ本有ノ理性ヲ忘レタリト云是チ本分ノ

機ト云ナリ行卷云其機則一切善惡大小凡愚也トノ玉ヒニ  
卷鈔ニ善惡二機ヲ分別シ玉ヒ信卷ニ離化ノ三機ヲ判シ玉フ  
如キ或ハ一切善惡ニ通シテ機ヲ示シ或ハ極惡ニ就テ機ヲ  
明シ玉フモノユレチ以テ直ニ今云トコロノ機トハ云ヘカラ  
ス六要ニ有善無善ヲ論セス自ノ功チカラス出離偏ニ他力  
ニアルコトヲ明ス聖道ノ諸教ハ盛ニ生佛一如ノ理ヲ談ス  
今ノ教ハ自力無功チ知ルニ依テ偏ニ佛力ニ皈ス依之此信  
殊最要ナリト云ユノ釋意ニ依テコレチ案スルニ聖道門ニ  
於テハ盛ニ生佛一如ノ理ヲ談スル故ニ無有出離之緣トハ  
談セス今家ノ所談ハ佛性トハ久遠ノ眞證チ云フ故ニ唯信  
文意云涅槃トマツスニソノ名無量ナリ<sup>乃</sup>一如トイフ佛性  
トイフ佛性スナハチ如來ナリユノ如來微塵世界ニミチク  
アマシマススナハチ一切群生海ノ心ニミチク玉ヘルナリ草木



國土コトククミナ成佛ストケリ乃五法性法身トマウスハイ  
ロモナシカタナモマシマサスシカレハユ、ロモオヨハス  
ユトハモタエタリユノ一如ヨリカタナアヲハシテ方便  
法身トマウスソノ御スカタニ法藏比丘トナノリ玉ヒテ等  
ト以テ知ルヘシ衆生ハ無始ヨリ迷倒シテ差別隔歴ノ情執  
ナイタクコレナ本分ノ機トス然レハ等覺已還悉ク眞如ノ  
理ニ迷フカ故ニ有善無善該シテ無有出離ノ機トス或ハ善ヲ修シ  
テ眞如ノ理ヲ一分ツ、證得スルモノハコレニ轉依ノ果ニ漸ク近クモ  
ノナリト雖一品ニアモ無明猶存スルトキハ不出三界ノ機ナ  
リ所謂橫截五惡趣昇道無窮極ノ義ナレハ三界ヲ出ルトキ  
ハ即是佛果ナリ變易生死佛果ニ至ラサル限リハ展轉五道ニ  
シテ無有出離之縁ノ機ナリ然レハ三乘ノ善ハタトヘハ衆  
面ニ化粧シタルカ如シソノ本分ノ機ヲ云ヘハ眞如ノ理ニ

迷フ所ノ生レ付ノ素面ナリソノ善ヲ修スルハ本分ノ上ニ  
修飾シタルモノニシテ是則漸ク眞如ノ理ニ近ツクモノナ  
リ又勝法闍提五逆十惡ノ如キハ素面ニ汗物ヲ塗リテ愈穢  
レタルカ如シ是則愈眞如ノ理ニ遠サカルモノナリソノ善  
ナルモノハ眞如ノ都ニ漸ク近ツキソノ惡ナルモノハ眞如  
ノ都ニ愈遠サカル向背遠近ノ差アリト雖同ク迷妄ノ衆生  
ナルカ故ニ等覺モ我等如キ下品ノ機モ共ニ無有出離ノ機  
ナリ大經讚云聖道權假ノ方便ニ衆生久シクト、マリテ諸  
有ニ流轉ノ身トソナル悲願ノ一乘皈命セヨトコノ意ナリ  
○二自力計度ノ機トハ出離ニ心ナキモノハ姑ク置ク荷モ  
轉迷開悟ニ心ヲ係ルモノハ三世因果善惡業感ノ理ヲ知ラ  
スシハアルヘカヲス若ユレナ知ラハ惡ヲ恐レ善ヲ修スル  
ユ、ロ必コレアルヘシ然ルニ善ヲ修スルモノハ善ヲタノ



ミテ證ヲ得ント欲スコレヲ自力ノ機ト名クヌトヒ善アル  
モ善根薄少ニシテ三界ヲ出ルユトヲ得ヘカラス是ヲ本分  
ノ機トス又惡ヲ恐ル、モノハコレヲ止ント欲スルモ止ム  
ルユト能ハス止ムルユト能ハスシテ猶コレヲ恐ル、コレ  
ヲ自力ノ機トス若ハ善若ハ惡自力ノ計度コレニ依テ起ル  
善惡ノ二機ヲ直ニ自力トハ云ヘカラス他力本願ニ於テハ  
善惡ノ二業往生ノヌスケトモナラス妨ケトモナラス只自  
力ノ機ノミコレヲ捨テサルヘカラス故ニ捨機托法ヲ以テ  
他力信心ノ相トス本分ノ機ニハ善惡ノ二機二性アルヘシ  
而シテコレヲ捨ルニハアラス善惡トモニ無有出離之緣ト  
信知シテカ、ル出離ニ緣ナキモノチコレヲ、ニテ助ケ玉  
フ願力ナリトヌム是ヲ信機信法ノ信相トス自ハノ機ハ  
機ノ本分ヲ信スルト同時ニ捨タルナリ終南大師信機ノ釋

ヲ設ケ玉フモノ惡ヲ恐レテ往生ヲ危ク思フモノアラシク  
トナカンカミテ惡アリナカラユノマ、ニテ願力ノ不思議  
ヲ以テ往生ヲ得ト信スヘシト示シ玉フ和語燈一三六丁往生大  
要鈔同二一三丁淨土宗畧鈔同三三六丁大胡太郎實秀ヘツカハス御  
返事同七十四丁御消息第三等披テ可見然ルニ人或ハ信機ノ機  
ヲ自力ノ機トシテ信機ハコレ捨機ナリト誤解スルモノア  
リ宜ク注意スヘシ問自力計度ノ機トハ出テ何ノ文ニアリ  
ヤ答近ク寶章第三帖第七章云アヒカマヘテ自力執心ノラ  
ロキ機ノカタチハフリステ、タ、不思議ノ願力ソトフカ  
ク信シテ等コレナリ古德コレヲ捨機托法ト稱ス○三法休  
成就ノ機トハ行卷云金剛信心絕對不二之機也又信卷云至  
心信樂之願正定聚之機ト是ハ法体ニ已ニ成就シ玉フ所ノ  
機ニシテ六字ニ配スレハ南無ノ二字ナリ五帖ノ消息ニシ



ハク機法一休ノ義ヲ述玉フテ南無ハ機ノカタリトノ玉  
フモノ法休已成ノ機ナリ是衆生ノ本分ニカ、ハラヌ故ニ  
法休成就ノ機トスル被本分ノ劣機カ佛願ニ皈スル下キ法  
躰成躰ノ機頭ニ曰カ機トナルタノム一念ノ處ニ佛心凡心  
一躰トナリ惡機轉シテ絶對不二ノ機トナルコトハ本願力  
ヨリ轉セラレタル機ナリ故ニ願力ニ皈スルトキハ只惡ヲ  
轉スルノミナラス善業モ亦轉スル故ニ行卷云從久遠却已  
未轉凡聖所修雜修雜善川水轉逆勝闍提恒沙無明海水成本  
願大悲智慧真實恒沙万德大寶海水故ニ知ル善惡共ニ轉  
スルナリ所以然者假令等覺ノ善根モ五道ヲ出ルコト能ハ  
サレハ今日ノ惡機ト位ヲ同スル轉スルトキモ亦共ニ轉セ  
ラレルコト轉シタル所即絶對不二ノ機ナリ上來辨スル如  
ク信機ノ機ハ本分ノ機ナリ南無ノ機ハ法躰成就ノ機ナリ

宜ク分別スヘシ然ルニ機ニ本分ノ機ト法躰成就ノ機トノ  
ニアル故ニユレニ對スルニ法モ亦自ラ二途トナル行信ト  
モニ法トスル邊アリ行信ニ法ノ中テ機法ニ引分テ行ヲ法  
トシ信ヲ機トスルアリ近クハ六字ノ上ニ共ニ法ニ約スル  
アリ機法分釋スルアリ本分ノ機ニ對スルトキハ法ノ中ノ機  
ハ共ニ法ニ属スル又法休成就ノ機ヲ論スルトキハ法中ニ  
機法ヲ分テ二字四字ヲ分別シテ阿彌陀佛ノ四字ヲ法トス  
今機法二種ノ中ノ法ハ法休成就ノ機マテヲ取メタル機法  
一躰ノ法ナリ因ニ問機ノ名義云何答字典ニ說文ヲ引テ云  
主發謂ニ之機大學ニ其機如此ト云註ニ發動所由ト云一家仁一  
チ云フ故ニ法華玄義六上縮呂九ノ機是微義故易云機ハ動之微吉之  
善惡ニ通ス先現漢古下有凶字又阿含云衆生有善法之機聖人來應也衆生有  
將生之善此善微々將動而得爲機如夢有可發之機云云玄義ハ且



ヲ云フ此等ノ諸文ニ依テユレヲミルニ機ハ善惡ノ未タ發セ  
スシテアマサニ發セントスルヲ云フ然ルニ修善ノ機ヲ善機  
ト云造惡ノ機ヲ惡機ト云モノハ微ヲ以テ著ニ名ケタルモ  
ノナルヘシ

三辨ニ種一具者終南大師一箇ノ深信ヲ二種ト分テソノ信  
相ヲ詳ニシ玉フヤ自力ヲステ、他力ニ皈スル信心ナレハ  
自ラユノ機法ノ二ツナハルユヘニ二種ト分テ玉フモノナ  
リ然ニ他派ニ於テハユノ信機ノ信ノ字ヨリ見込テ信トタ  
ノムトハ躰一ナレトモ義別ト談スル家アリ一往ミレハ信  
機ノ信ニハタノムノ順施サレズ信知ト云ヘケレトモ信  
順トハ云ヒカキ故タノムハ機ヲタノムニアラス法ヲタ  
ノムナリシカレハ信ノ言トタノムノ言ト義別ナリト談ス  
ルモ可ナルニ似タレトモユレ言ノ通局ヲ義ノ差別混淆ス

ル故ニ終ニ義別ト誤ルモノナリ信ノ言ハ廣ク通スルノ言  
タノムノ言ハ狭ク局ルノ言信ノ言ハ信知信順ニ通シタノ  
ムノ言ハ信順ノ一邊ニ限ルユレタ、言ノ通局ニシテ意味  
全一ナリ何者彌陀ヲタノム一念ニ信機ノユ、ロナケレハ  
ソノタノムハ不如實ノタノムナリタノムハ投托ノ言ナレ  
トモ其意味ヲ探レハタ、我身ハワロキ徒者ト見限ルユト  
ハ彌陀ヲタノム一念ニ宛然トシテ具スル故ニ言ハ局レト  
モ意ハ通スルナリ皈命ニアレ助ケ玉ヘニアレ聞名ニアレ  
タノムニアレ言ハ種々ニ異レトモ意味全一ナリ然ルニ信  
ノ字言ノ通スル邊ア信機信法ニ属セラル、ナリ信機ノ信  
ニタノムノ義ハナケレトモ信法ノ信ニハ即タノムノ義ア  
リソユテ一彌陀ヲタノムノ信心ノ意味ヲ開テ言ノ通スル  
邊ア機法ノ二ニ分属シタルカ二種深信ナリ二種深信トイ



へトモ其實ヲ尅スレハ信法ノ中ニアル所ノ意味ヲ開テ信  
機ヲ顯シタモシナリ本願ノ信樂ノ信ノ字モ成就ノ信心ノ  
信ノ字モ共ニ願力ヲ信スルコトナリソノ願力ヲ信スル中  
ニ機ノ方ヲ見限ル意味自ラ具スル故ニ言ノ通スル邊テ信  
心ノ信ヲ信機ニ蒙ラシタルモノナリタノムハ言限ルニハ  
ニ機ヲタノムトハ云ハレヌ機ヲタノムトハ云ハレサレト  
モ彌陀ヲタノム中ニハ信機ノ心ハ具スルナリ故ニ信トタ  
ノムト言ニ通局アレトモ其意味ハ全同無二ナリユレナ以  
テ三種一具ナルコトソノ義可知已上依師說有說ニ問云深  
信トハ信ハタノムノ義ニシテ中具上人屢深クタノムトノ  
玉フモノ正ク此深信ノ義ヲ顯ハセリ爾ハ無有出離之縁ト  
深信スルトハ深ク機ヲタノムト云フ義ナリヤ答汝二種深  
信ヲ二物ト思フ故ニ斯ル疑難ヲ起セリ仍チ愚昧ノ致ス所

ヨリ或ハ解シ信法ノ信ハタノム義ナレトモ信機ノ信ハ疑  
ハヌ義ニシタノム義ニハ非スナトモ思ヘルナルヘシ然ル  
ニ是ハ二種一具ノ信心ナレハ分ケテ論スヘキ者ニハ非ス  
其然ル所以ハ先ツ信法ヲ離レテ別ニ信機ヲ立ルトキハ信  
機ハ自力トナリテ他力ノ深信ニハ非ルヘシ又機ノ方ヲ眺  
メテハイツマテモ地獄一定ト見テオルナレハ疑ヒ晴ル  
時節ナシニ卷鈔ニ二種深信ノ文ヲ釋メ他力至極之金剛心  
一乘無上之眞實信海也トイフ爾ハ信機ノ所ニ信法カ入滿  
テアル故ニ彌陀ノ本願ヲ除テ出離ノ縁アルコトナシト信  
スルカ信機ナリ又信法中ニ信機ノ入滿タル相々ハ諸有衆  
生トハ無有出離之縁ノ機ナレハ是則信法ノ中ニ信機アル  
ナリ斯ルモノヲ助ケ玉フ本願ナリト信知スル所即彌陀ヲ  
タノム義ナリ其斯ルモノヲト云フ邊テ暫ク開テ信機トイ



へルノミ信機ノ信亦信法ノ信ノ外ナラス故ニ二種一具ノ  
信ト心得テミレハ機ヲタノムナト、云フ不審ノ立ツヘキ  
理ナシト評云二種一具ノ信心ナルユトハ無論カノ和語證  
二二<sup>二</sup>ニ深信ト云ハ彌陀ノ本願ヲ深ク信ノ我身ハ無始ヨリ  
已來罪惡生死ノ凡夫トシテ生死ヲ免ルヘキ道ナキヲ彌陀ノ  
本願不思議ナルニ依テ彼名号ヲ一向ニ稱念メ疑ヲナス心  
ナケレハ等又三<sup>三</sup>ニ<sup>六</sup>深信ト云ハ則是深ク信スル心ナリ何事  
ヲ深ク信スルト云ニ先諸ノ煩惱ヲ具足シ多ノ罪ヲ造テ餘  
ノ善根ナシトナカラン凡夫阿彌陀佛ノ大悲本願ヲアフキ  
テ<sup>乃</sup>至決定ノ往生スヘシト信メ乃至一念モ疑フ心ナキヲ深  
心トハ申ナリ又四<sup>四</sup>ニ<sup>三</sup>深信ト云ハ佛ノ本願ヲ信スル心ナリ  
我ハ惡業煩惱ノ身ナレトモ佛ノ願力ニテ必往生スルナリ  
ト云道理ヲ聞テ深ク信メ露ハカリモ疑メ心ナリ等カクノ

如ク二種ヲ合シ信相ヲ明サハ本願ヲ信スルノ心ナルカ故  
ニタノムノ訓ヲ用テ然ルヘシ今ハ一具ナルモノヲ分開シ  
二種トメ機ヲ信シ法ヲ信スト云フ故ニ六要ニモ亦有等ト  
ハ所信ノ事ヲ顯スト云然レハ信機ノ信ヲタノムト訓スル  
トキハ機ヲタノムト云ユトニナル汝却テ愚昧ナルニ非ス  
ヤ已上二種一具ヲ辨シ畢ル然ルニ近來異解者アリテ或ハ  
深信ノ中信法ハ即是彌陀ヲタノムスカタニシテ是ヲ安心  
トス機ノ深信ハ自力ナリト云或ハ初起ノ信心ハ機ノ深信  
ニメ法ノ深信ハ第二念ナリト云<sup>云</sup>コノ二計各ソノ一邊ニ失  
スルモノナリ一念ノ刹那ニ信機信法ノ二種アルヘカラス  
トオモフニ依テコノ二計起ル一ハ彌陀ヲタノムカ法ノ深  
信ニソコノ初起ノ一念ナルカ故ニソノ前ニ在ルトヨロノ  
信機ハ自力ニ非ス何ソヤト執ス又一ハ一念ノ信心ニハ



二種アルヘカヲサルカ故ニ信機ヲ以テ初起ノ一念トス助  
カヲレヌモノナリト信知スルカ即願力ノ攝取ニアツカリ  
タルナリト云初ニ信機自力ノ義ヲ評セハ有人捨子問答ト  
云一冊子ヲ著シ二種深信正目ノ義ヲ破シ異義ヲ骨張スッ  
ノ説至テ畧ナレトモ亦義骨ヲ見ルニ足レリ今ソノ大意ニ  
就テ論セハ彼レ和語燈ノ文ヲ引テ後ノ信心ヲ決定セシメ  
ンカ爲ニ始ノ信心ヲ舉ルナリト云既ニ後ノ信心ヲ決定セ  
シンカ爲ニ始ノ信心ヲ舉ルナリトイヘハ二種ノ信心各  
別ニソ第一ノ深信ハ往生ノ正目ニ非ルコト文ニ在テ顯然  
タリ云初後ノ言ヲ僻解シ二種各別ノ證トシ第一ノ深信ヲ  
正目ニ非スト謬執シタルモノナリ今畧シ語燈ノ始終ノ文  
意ヲ指示セハ後ノ信心ヲ決定セシンカ爲ニ始ノ信心ヲ  
アクルナリトハ信機ヲ別開スルノ義ヲ示シ玉フソノ故ハ

已下ハ廣クソノ義ヲ詳ニス信機信法ハ二種一具ニシテ次  
第相發スルニ非ス信機若不如實ナラハ止ナン苟モ如實ノ  
信機ナルトキハ信法ノ俱時ニアリ又信法如實ナルトキハ  
信機自ラ具ス是以一心皈命ノ信相ニ自ラ信機信法ノ二種  
ソナハルナリ何ソ一心正因二種正因ト別見スヘケンヤ即  
語燈ノ下ノ文ニソノ故ハモシ初ノ我身ヲ信スルヤウチ舉  
スソメ、ナニ後ノ佛ノ誓ハカリヲ信スヘキ旨ヲ出シタラ  
マシカハセロクノ往生ヲチカハン人正シ彌陀ノ本願ノ念  
佛ヲ修シナカラモ猶心ニ若貪欲瞋恚ノ煩惱ヲモ起シ身ニ  
自ラ十惡破戒等ノ罪業ヲモ犯スユトアラハ機リニ自身ヲ  
怯弱メ却テ本願ヲ疑惑シナマシ乃至此義ヲ心得分ズ人ニユ  
ソアルソレ佛ノ本願ヲ疑チトモ我心ノソロケレハ往生  
ハカナハシト申アヒタルカヤカタ本願ヲ疑フニテ侍ルナ



リ乃 至スヘテ我心ノ善惡ヲ計ヒテ佛ノ願ニカナロカナハサ  
ルヲ心得合センコトハ佛智ナラテハカナフマシキコトナ  
リ云 當知本分ノ機ヲ信知シタル處ニ即機ノ計ヒテ捨ルナ  
リ捨機托法ハユレ一具ニシテ自力ヲ捨ル處即他力ヲ憑ムナ  
リ何ソ次第前後アランヤ既ヨ然ルトキハ何ソ信機ノ一ヲ  
自力トシテ安心ニ非ストスルコトヲ得ンヤ和語燈ノ下ノ  
文ニ二種ヲ總結メ云所詮ハ深信ト云ハ彼佛ノ本願ハイカ  
ナル罪人ヲモ捨ス只名号ヲ稱ルコト一聲マテニ決定ノ往  
生スト深ク憑テスユシノ疑モナキヲ申スナリトノ玉フ信  
機ハユレ一心皈命ノ中ノ自然ノ妙味ヲ開キ玉ヒタルト云  
コト此文ニ至テ愈明ナリ此ニ於テカ知ル初後ノ言ハ只是  
文相ノ前後ノミ更ニ餘文ヲ舉テ示サハ語燈四三十一云次ニ深  
心ト云ハ只是佛ノ本願ヲ信スルナリ

是總 我ハ惡業煩惱ノ

身ナレトモ足機佛ノ願力ニテ必往生スルナリ是法ト云道理ヲ聞  
テ深ク信メ露ハカリモ疑ハヌナリト此等ノ文意ニヨリテ  
本願ヲ信スル心ニ自ラ信機ヲ具スルコトヲ知ルヘシ次ニ  
二卷鈔ノ七深信ノ中ヲ指メ二信別見ノ證トス此文ハ第一  
第二ヲ分離メ七深信ト頭數ヲナラヘテ各立スルノ文ナレ  
ハ且ク彼カ所論ノ如クナルヘシト雖弘願ノ信心ハ二種均  
等ニ並フモノニ非ス一心皈命ノ信法中ニ自ラ具スル所ノ  
信機ナル故ニ開クトキハ二種ナリト雖只是本願ヲ信スル  
ノ信ナリ故ニ次上ニ二種深信ノ文ヲ引テ決判メ今斯深信  
等トノ玉フユレヲ以テ真宗相承ノ安心トスルナリト可知  
次ニ六要ニ顯所信事是則機法二種信心トアルヲ以テ別見  
ノ證ヲ成セントスレトモ信機ヲ釋シ玉フ文ニ無有等者正  
明不論有善無善不假自功出離偏在他力上依知自力無功偏皈



佛力依之此信最要也トノ玉フ此文自力ヲ捨ル處即他力ニ  
皈スルコトヲ顯ス却テ一具ノ二種ヲ顯スノ證トスヘシ上未  
彼カ僻解スヲ所ノ諸文ニ就テ辨明スルコト畧メ爾リ又五  
帖ノ寶章ニ處々ニ二種深信ヲ以テ一流ノ安心ヲ教示シ玉  
フ或ハ當流親鸞聖人ノオシヘ玉ヘルトコロノ他力信心ノ  
ヲモムキハト票シ第二帖 第八通或ハ當流ノ安心ノヲモムキヲクハ  
シクシラントオモハンヒトハト票シ同第十 三通或ハ當流ノ安心  
ノスカタハイカンソナレハト票シ同第十 五通或ハ夫一流ノ安心  
ノ正義ノヲモムキトイフハト票シ第三帖 第十通二種深信ノ意ヲ以  
テ信相ヲ述玉フ何ソ二種ヲ分離ノ唯信法ノミヲ取テ一流  
ノ安心トスルコトヲ得ンヤ然ルニ第二帖第十五通ニ。マッ  
我身八十惡五逆五障三從ノイタツヲモノナリトフカクオ  
モヒツメテ。ソ。上。ニオモフヘキヤウハ等トアル文ハ二種

次第相發ニ似タレトモ上來ノ宗意ヲ快會ン見ルトキハ一  
念中ニ於テ且ク前後ヲ論ノ二種ノ分齊ヲ辨別シ易カラシ  
ムルモノナリ故ニ下ノ文ニカクノコトキノ信心ヲ。一。念ト  
ランスル等トノ玉フ倒セハ御鈔ニ前念命終後念即生ヲ釋  
シ玉フカ如シ喻ヲ以テユレヲ驗サハ障子ヲ隔テ庭前ニ梅  
アリ竹アリト管葉ヲ以テ示ストキハソノ次第アレトモ障  
子ヲ開クトキハ一時ニ炳現スルカ如シソノ機法ノ二種ヲ  
説キ示ストキハ聞クモノモ亦次第ノコトヲ聞クト雖他力  
信心ヲ領受スルトキハ二種一時ニ心中ニ現メカ、ル徒ヲ  
モノヲ助ケ玉フ願力ナリト信スルナリ上ニ和語燈ノ文ヲ  
引カ如シ蓋案スルニ寶章ノ中機受安心ヲ示シ玉フニ二種  
深信ニ約ノ明スト一心皈命ニ約メ明ストノ二ノ休製アリ  
二種ニ約スル文ハ上ニ指ス所ノ如シユレハ終南大師ニ依



ル一心皈命ニ約スルトハ六字ノ名義ヲ以テ安心ヲ示シ玉  
フカ如シユレハ北天論主ニ依ル近クハ末代無智障ニヨ  
ロチ一ニシテ阿彌陀佛ヲフカクホノミマイトセテ更ニ餘  
ノカクヘ心ヲフラス等トノ玉ヒ或ハセロクノ雜行チステ  
ハ一念ニ彌陀如來今度ノ後生タスケ玉ヘトフカクホノミ  
等トノ玉フ此等ハ一心皈命ノ信相ヲ述玉フナリ文相且ク  
異ントモ意味全ク一ナリ何トナレハ機實ヲ信スルトキハ  
自力無功ヲ知ルカ故ニ雜行自ラ捨タルナリ雜行ヲ捨ル處  
ニテ信機ノ具スルコト宛然トシ可見又願力ヲ信スルハ即  
彌陀ヲ頼ムナリ故ニ一心皈命ハ只是信法ノ一邊ナレトモ  
信機自ラ具スルナリ若不爾者忽安心ニ途ニナルコト意ヲ  
得サルトキハ邪路ニ陷ルヘキナリ彼レコト意ヲ得サルカ  
故ニ信機自力ノ僻解ヲ生セシモノナリ○次ニ初起ノ一念

ハ信機ニシテ信法ハ第二念ナリト計スルソノ意許ヲ尋ルニ  
願力ノ攝取ニ依ラサルカキリハ無有出離之緣ト信知スル  
コト能ハス機ヲ信スルハ自力盡ルカ故ナリ故ニ無有出離  
之緣ト信知スルカ即願力ノ攝取ニアツカリタルナリ願力  
ヲ以テ往生セシメ玉フト思フハ第二念ニ墮スルト云評メ  
云成就ノ文ヲ以テ安心ノ依憑トスルコトハ誰カユレテ争  
ハシ聞名信喜ノ一念ニ真因決定ス是即我往生ニ於テ大安  
堵心ニ住スルナリ故ニ歡喜ト説玉フ若但必墮惡道ト知ル  
ノミニシテ御助ケト云コトナ心ニ領知セシメハ何ソ歡喜  
ト説クコトヲ得ンヤ又論主自督テ述玉フテ一心皈命ト云  
フ是佛ノ勅命ノマヽニ信順スルナリ佛勅何ノ處ニカ但信  
機ノミナ命シ玉フヤ又終南大師信機ヲ明スト雖信法中ニ  
アル所ノ意味ヲ開テ信機ヲ顯シメモノナリ上ニ辨スルカ



如シ何ソ信機ノミヲ取テ安心トスルコトヲ得ンヤ又往生  
治定トオモフハ第二念ナリト云ハ、五帖ノ寶章ニ處々コ  
助ケ玉ヘトオモフ一念トノ玉フモノハ見サルヤ又初起ノ  
心相ハ信機ノミヨシテ往生治定トオモフハ第二念ナリト  
云ハ、願力攝取ハ無想離念ニ凡夫ノ知ル所ニ非ストス  
ル乎他力ノ信心何ソ無想離念ナラシヤ又ソノ心相ハ第二  
念ニアリト云トキハ一念皈命ノ安心ハ一念ノ時ニアラス  
シテ信後ニ至テ初テ開發スルト云テ可ナラシヤ已上二帖又一  
計アリ云機ノ心相ハ臨終マテ地獄一定トオモフノ外ナシ  
往生ノ想ヒチナスハ自力ナリト云又或ハ計メ云往生ニ四  
違ナヒト思フテ歎フコトハ自力ニハ非レトモ起不起不定  
ニメ臨終ニハ必スキユル所ノコトヲナレトモ本分ノ機ハ  
思フ思ハサルニ關ラス地獄一定ノ機ナレハ機ノ心想ハ信

機ノ外アルヘカラス云評ソ云信心發得ノ上ハ正定聚ノ位  
ニ住スルカ故ニ地獄ニキニハアラス八十通ノ中或ハ今度  
ノ往生ハ一定ナリト云第十通或ハ  
一期ノ間ハコノ光明ノウチニス身ナリトオモフヘント  
云第二帖如此ノ類文校舉スヘカラスト雖一期ノ間地獄ニキ  
トオモヘト云御言一モナシ第十通領解文ニモ往生一定御助治定ト  
存シト云寶章ハ中祖大師ノ勸化ナリ領解文ハ機ノ出音ナ  
リ機教共ニ臨終マテ地獄一定トオモフト云コト更ニナシ  
然ルニ初起ノ信相即信機信法ノ領解ヲ後續ニ持出ノ出音  
シ以テ地獄ニキヲ御助ケノ御恩ヲ歎フコトハユレナキニ  
非ス今混同スヘカラスサテ往生ノ想ヒチナスハ自力ナリ  
ト云モノ甚非ナリ若然ラハ寶章ニ勸メ玉フ所ノ安心ハ皆  
自力ナリヤ又往生ノ想ヒチナスハ自力ニシテ地獄ニキト



オモフハ他力ナリト云ノユ、ロナリヤ一ヲ以テ自力トセ  
ハ地獄ニキトオモフモ自力ナラサルヲ得スソノ非可知又  
信後ノ歡喜ハ起不起不定ニシテ臨終ニキユルト云ヨノ亦  
非ナリ安心決定鈔二十云コノ信心オユリメル上ハ口業ニハ  
オトホトキク念佛ストモ常念佛ノ衆生ニテアルヘキナリ又三十  
ニウチマカセテ人ノオモヘル念佛ハユ、ロニハ淨土ノ依  
正ヲモ觀シ口ニハ名号ヲモ稱ルトハカリ念佛ハアリ念セ  
ス稱ヘサルキトハ念佛モナシトオモヘリユノ位ノ念佛ナラ  
ハ無爲常住ノ念佛トハ云カオシ稱ルトキハイテキ稱ヘサ  
ルトキハウセハマコトニ無常轉變ノ念佛ナリトノ玉フ此  
文ニ照シ是非可知已上與計ナ ○四辨開示所由者恭通院義師十  
義ヲ立ル一爲棟聖道實教安心故二爲對破諸師謬解故三爲  
示淨教仰信爲要故四爲明弘願被下機故五爲破憍慢疑退二

障故六爲遮下佛願外執自善之情故七爲破宿善往生謬解故八  
爲令定散機回心皈念佛故九爲示弘願信心無二故十爲令行  
者念報佛恩故云 コノ十義恭通院師ノ觀經錄ニ出テ其要師今謂自力ノ機計ナ  
云通津録及眞實院ノ仰高記ニコレヲ引ク 檢シシカ爲ナリ六要云無有等者正明止最要也上引此釋和  
語燈ノ意ニ依ルトミエタリ有善ノ人ハ憍慢心ヲ以テ已レ  
チ高フリ他チ蔑ミスルカ故ニ我機ノ本分ユレ無有出離之  
緣ナルコトヲ知ラス是以自力ノ機ヲツノリテユレチ捨ル  
ユト能ハス是以大師一深信ノ中ニ於テ信機ヲ分附メ以テ  
自力功ナキユトヲ知ラシム此乃大經ノ中ニ釋尊彌勒ニ對  
メ汝及十方諸天人人民永却已未展轉五道乃至今世生死不絕  
トノ玉フチ彌勒ユレチ領受ノ敢テ疑アラスト云フ等覺ノ  
大士スラ自善ニ誇ラスシテ甘受スルコト如比況ヤソノ餘  
チヤ又ソノ惡機ハ我身ノ惡業ニ依テ自身チ怯弱メ往生ス



マシキカト疑フモノコレ亦自力ノ機執ナリ和語燈云上ニ  
文處ヲ指スカ如シ有善ノモノハ有善ヲ恃ミ無善ノモノハ  
無善ヲ恐ル皆是自力ノ機執ナリ今無有出離之縁ト信スル  
トキハ自力ノ執情ヲ遣盡ノ願力ニ全托スルコトヲ得ルナ  
リ古來多義ヲ設クト雖六要ノ義意ヲ得ルトキハ煩ヲ辨ス  
ルコトヲ須ヒス  
五辨後續相狀者有云他力ノ信ヲ得タルモノソノ機ハ失張  
地獄ニキナリ法徳ヲ云ヘハ常ニ御助ケナクソノ機ヲ地獄  
ニキト云モノハ貪瞋等ハ地獄ノ種子ナルカ故ニ果ヲ以テ  
因ヲ呼テ貪瞋諸煩惱ノ起ルスカテ地獄ニキト云即煩惱  
具足ノ機ヲ指名ノコレヲ云フ他力ノ信ヲ得タルモノト雖  
受欲名利等ノ諸煩惱ハ臨終マテ止マサル機邊ヲ地獄行ト  
判ス然ルニ一度墮獄一度ハ得生スルト云ニハ非ス初起ヨ

リ臨終マテ常ニ墮獄スル機ヲ常ニ攝受レテ落シ玉ハスト  
深信無疑ナルヲ二種一具ノ深信トス云云評ノ云畧ノ六矢ア  
リ一ニハ惡趣ノ因果亡矢セサルノ矢謂果ヲ以テ因ヲ呼テ  
地獄行ト云モノ甚非ナリ獲信ノ人ハ苦果ノ受クヘキナレ  
然レハ果ヲ以テ因ヲ呼フトハ云ヘカラス又以果呼因トキ  
ハ受欲等コレ地地ノ種子ニレテ因アレハ果ナクンハアル  
ヘカラス果ナキトキハ亦因ト呼フヘカラス獲信ノ人猶地  
獄ノ因果滅亡セスト云義ニ墮スルナリニコレハ無有出離ノ  
機ト正定聚ノ機ト一人ノ上ニコレ二種ノ機アルノ失謂既ニ地  
獄ノ種アリト云トキハ無有出離之縁ノ機ナリ又信心ヲ獲  
ルチ正定聚ノ機ト云然レハ一人上ニコレ二種ノ機アルノ義ニ  
墮ス二種ノ機アリトスルトキハ白大豆ト赤小豆ト一ツニ  
ナリタルカ如シト云ハサルヲ得ス三ニハ法徳機ヲ融攝ス



ルユト能ハサルノ失機ハ常ニ墮獄スル機ナ法ハ常ニ攝受  
ノ落レ玉ハスト云ト雖信後ニ地獄ニキノ機アルトキハ融  
攝スルニ非スト云義ニ墮スルナリ若融攝スルト許サハ地  
獄種子アリトハ云ヘカラス四ニハ信一念ニ三世ノ罪ヲ滅  
スルト云ハ戲論ニ墮スルノ失謂信後ニ地獄ニキアリト云  
ハハメノム一念ニ三世ノ業障ヲ滅スト云ヘカラスメトハ  
法徳ヨリ云ヘハ一念獄罪ト云フトモ機相ハ臨終滅罪或ハ念  
々滅罪ト云ハサルヲ得ス五ニハ二種深信隔歴ノ失謂地獄  
ニキカ地獄ニ行カサルヤウニナリタルユ御助ケニアツ  
カリタルナルヘキニ信ヲ得タル後モ失張地獄ニキト云ハ  
、無有出離ノ機ト攝受衆生ノ法トカ二種隔歴スル故ニ一  
具ト云ヘトモ一ノ深信ニ非ス六ニハ真俗二諦ノ妙旨ニ妨  
害ヲ醸スノ失謂地獄ニキノ機カ攝受セラレタル上ハ身モ

心モ南無阿彌陀佛ニ丸ノラレタルモナリ安心決定鈔云  
念佛三昧ニ於テ信心決定セン人ハ身モ南無阿彌陀佛心モ  
南無阿彌陀佛ナリトオモフヘキナリ人ノ身ヲハ地水火風  
ノ四大ヨリアヒテ成ス身ヲ極微ニシテキアミルトモ報佛  
ノ功德ノソマヌトヨロハアルヘカラスサレハ機法一休ノ  
身モ南無阿彌陀佛ナリ心ハ煩惱隨煩惱等具足セリユ、ロ  
チ刹那ニチハリアミルトモ彌陀ノ願行ノ遍セヌトユロナ  
ケレハ機法一休ニソ南無阿彌陀佛ナリト中袒大師ユノ意  
ヲ述テ彌陀チタノムル人ハ南無阿彌陀佛ニ身ヲハ丸ノタ  
ルユトナリトノ玉フ又信決定ノ人ハ誰ニヨラス先ミレハ  
尊クナリ候ユレソノ人ノ尊キニ非ス佛智チエタル、カ故  
ナリト云又信アル人ハミルサヘ尊シト云二諦相資ノ妙味  
ハユ、ニ在ルヘシ然ルニ臨終マテモ地獄ニキノ機ナルト



キハ尊クナルヘキ理ナシ信ヲ得タルモノニ豈地獄ニキノ  
スカタルヘケンヤ貪瞋煩惱ノ有クテ全ク南無阿彌陀佛  
ナルトキハ貪瞋煩惱ハタノム一念ノ時若果ヲ招クノハタ  
ラキヲ消滅スルカ故ニアレトモナキ分ニレテアユレ死物ナ  
リ地獄タチニ非ス地獄タチニ非レハ地獄ニキニ非スサレ  
ハユレ信アル人ハミルサヘ尊シトノ玉フナリ已上有人ノ説ヲ評ス今謂  
信ノ一念ニ地獄行キノ機カ正定聚ノ機トナルカ故ニ經ニ  
横截五惡趣惡趣自然閉ト説玉フ寶章云五道六道トイヘル  
惡趣ニスタニオモムシヘキミチヲ彌陀如来ノ願力ノ不思  
議トシテアユレチフサキ玉フナリ乃至イカニ地獄ヘオナント  
オモフトモ彌陀如来ノ攝取ノ光明ニオサントナレマイラ  
セオラシハ身ハ我カラヒニア地獄ヘモ落スシテ極樂ニマ  
イルヘキ身ナルカニヘナリトソノ餘ノ諸文校尋スルニ違

アラス然ルニ初起ノ一念ニ地獄ニキチ御助ケト領受シタ  
ル時正定聚ニ住ノ最早地獄ニキニ非ス日々夜々淨土ヘ向  
フテ往ク所ノスカタナリ然而信後ニハ地獄ニキヨハ非レ  
トモ一念ノ時地獄ニキチ御助ケト領受シタルマ、チ取出  
ク喜フナ憶念相續ト云憶ハ憶持不忘ニメ地獄ニキノ機ナ  
助ケ玉フユトノウレシヤアリカマヤト臨終マチ思ヒ浮ヘ  
ク相續ノ喜フノミ信後ニ至テモ猶地獄行キト云ニ非ス地  
獄ニキト信スルモ御助ケト信スルモ初發ノ一念ニ在リ後  
助ニ至テハ地獄ニキチ御助ケニ間違ナキチ忘レヌ喜フ  
ユレチ相續心ト云ナリ  
次ニ文ニ就テ辨セハ深心釋ノ中初ニ鈔要決判後ニ按文意  
已下ハ案文分別初ノ中初ニ要ヲ鈔シ後ニ今斯等トハ決判  
スルナリ此一文ハ要中ノ極要ニシテ深心ヲ釋シ玉フ文



義廣シト雖終南大師ノ正意只コノ一著子ニ在リ故ニ禮讚  
ニハ唯初ノ二種ノ深信ヲ舉テ以テ眞實信心ノ相ヲ述玉フ  
二者深心トハ楞經言深心者已下ハ正釋師說云深心之心ト  
ハ心ノ深キニ簡フ問經ニ深心ト云コレ心ノ深キナ云ニ似  
タリ何ソ深信之心トスルヤ答至誠心トハ心ノ誠ナルヲ云  
今此深心若心ノ深キナレハ上ノ心ト但名言ノ異ニシヤ義  
ニ於テ別ナシ何ソ二心ヲ分シ助云要集・安樂集ノ三不信ヲ引テ  
初ノ信心不淳・信心不深ニ作テ合思可知此ニ  
知ル今此深心ハ則深ク信スルノ義ナリ是故本願ノ信樂ヲ  
以テ今經ノ深心ヲ釋シ深信之心ト云ナリ亦有二種等トハ  
師說云此中二種一心中ニ於テ二種ヲ分別シ全托他願ノ心  
相ヲ顯ス初ハ則自力ヲ捨レユトヲ顯ス後ハ則他力ニ皈ス  
ルユトヲ示ス機ヲ信スルカ故ニ自力ヲ捨ル法ヲ信スルカ  
故ニ他力ニ托ス自力稱名ノ人ノ如キ亦願力ニ皈セサルニ

非ス故ニ以信罪福心求願本願力ト云而モ信機深カフサル  
故ニ信法モ亦實ナラス又但ノ信機亦如實ニ非ス二卷鈔ニ  
判シ自利ノ信心トスルカ如シ然レハ信法ニ即スルノ信機  
信機ヲ具スルノ信法ヲ弘願如實ノ深信トスルナリ故ニ二  
卷鈔ニ二種深信ノ文ヲ舉テ云今斯深信者他力至極之金剛  
心一乘無上之眞實信海也又自身等トハ現在ニ約メ云フ噫  
却等トハ過去ニ就テ云フ無有等トハ未來ニ望メテ示ス常  
發トハ三途ニ約メ云フ流轉トハ六道ニ通シ云フ若  
ハ流若ハ流久ハ生死ニ居スル故ニ常ト云ナリ常發常流轉  
ハ語ハ涅槃第三十二七種ノ八河水ニ入ルノ喩ニ出ツ第一  
ノ人ハ水ニ入テ即發ス善根ヲ斷シ惡趣ニ沈没スルニ喩フ  
常第二ノ人ハ發スルト雖還出出已テ復發ス曾テ惡趣ヨリ  
出タ已テ還テ墮スルニ喩フ常流如此五道ニ展轉シ出離期ナ



ナチ常流轉ト云無有等トハ縁謂因縁禮讚ニ善根薄少  
ト云流轉凡夫ト雖微少ノ善ナキニ非ヌトヒ少善アルモ  
解脱ノ因トナラス彼此對映スルニ義ニ於テ差フコトナシ  
二者等次信法阿彌陀佛トハ果上ノ本佛四十八願トハ因位  
ノ本誓果佛因願ヲ捨テス以テ流轉ノ群萌ヲ攝ス故ニ攝受  
衆生ト云無疑無慮トハ攝受疑ナキヲ云フ六要云無疑等ト  
ハ若不生者不取正覺正覺既ニ成スルカ故ニ無疑ト云即得  
往生住不退轉一念誤ナキカ故ニ無慮ト云乘彼等トハ依佛  
願力往益不虛ナ明ヌ如此深信スルヲ決定深信ト云已上○今  
斯深信等トハ決判所信ノ事ニハ二種アリト雖只是一ノ深  
信ナルカ故ニ今斯深信ト云他力等トハ仰高記ニ初句ハ易  
ニ約ンユレナ歎レ後句ハ勝ニ約ンユレナ歎ス云云師說云  
他力トハ聖道ニ簡フ堅出堅超ハ自力ノ行ナルカ故ニ至極

トハ要門ニ簡フ彼ハ他力中ノ自力ナレハ他力ニシテ至極  
ニ非ス純一他力ユレテ至極トス信機ノ故ニ自力ヲ捨ツ聖道  
信法ノ故ニ他力ニ托ス要門故他力至極ト云一乘トハ二乘三  
乘ニ簡フ無上トハ諸餘ノ一乘ニ簡フ誓願一乘餘乘ノ其上  
ニ加ルモノナキカ故ニ一乘無上ト云今更ニ案スルニ二案ノ  
中初金剛心トハ回願心釋云作得生想此心深信由若金剛後  
句ニ其實信海ト云ハ其實ハユレ至誠心信海ハ即深信以テ  
三心即一ノ深信ナルコトヲ顯ス畧書大觀一異ノ問答併見ヘ  
シ信海トハ仰高記云信機ニ約スレハ補處還テ痛燒ノ列ニ  
就キ信法ニ約スレハ凡愚便チ等覺ノ位ニ同ス大信心海焉  
可思議  
按文意等已下案文分別此中分テ二トス初禪信差別ニ後ニ次  
就行立信者已下判行流轉初ノ一段ハ能信ノ相ヲ明後ノ一



段ハ所信ノ法ヲ詳ニス先此文ヲ辨ノ後ニ今ハ鈔ヲ解スヘ  
シ徒疏文ノ中就人立信ハ結アリテ御ナシ就行立信ハ御ア  
リテ結ナシ古來就人ノ科源ヲ求メ就行ノ結ヲ議ス諸  
説紛々此ニ辨スルニ過ナシ今畧ノ辨セハ深心釋ノ中大ニ分テ  
二段トス次就行立信者已下ヲ第二段トス第一段ノ中二重  
ノ義アリ一ニ信機信法ニ就人立信且ク文相ニ就クトキハ  
始ニ亦有二種ト標ノ次ニ釋ノ一者決定深信二者決定深信  
ト云ユレ能信ノ相ヲ示ス即信機信法ナリ終ニ是故一佛所  
説即一切佛同證誠其事也此名就人立信也ト云フユレ就人  
立信ナリ若文ノ始ヨリ順轉ニユレテ見ルトキハ機法二種  
ノ深信以テ後ノ一段ヲ貫テ第二信已下真假ノ異アリト雖  
該メユレテ云フニ第二三四所信ノ義ヲ開キ第五第六ハ深  
信ヲ勸發シ第七ハ決定ノ信相ヲ示ス和語燈一二十云後ノ信

心ニツイテ初ノ信心ニ對ス初ノ信心ハ信機ナリ故ニ後ノ信心トハ信法ナリ二ノ心アリ則佛ニ就テ深ク  
信シ經ニ就テ深ク信ス等ユレテ以テ第三已下ノ諸文信法  
ノ義ヲ聞キ玉フモノナルコト可知又若文ノ終ヨリ逆轉ニ  
ユレテミルトキハ就人立信初ノ一段ヲ統ヘテ以テ下ノ就  
行立信ニ對ス第二信已下三佛ニ就テ深信スルナリ佛人ナ成人ノ人トス  
ソノ信機ノ如キハ本是利他信海中所蘊ノ義ヲ開キタルモ  
ノナレハユレテ彌陀深信ニ屬スヘキナリ和語燈二八云ニ  
深心トハ深クスル心ナリ此ニ就テニアリ一ニハ我ハユレ  
罪惡乃至ニハ罪人ナリトイヘトヨ佛ノ願力ヲ以テ強縁ト  
シア必往生ヲ得ンコト疑ナク慮ナシト信ス是ニ就テ又二  
アリ一ニハ人ニ就テ信ヲ立ニハ行ニ就テ信ヲ立ツ等此  
中是ニ就テ又ニアリ等トハ次上ノ二種深信ヲ承テ起ル故  
ニ知ル就人立信初段ノ開首ニ及フコトヲ又同一二十云後ノ九丁



信心ニ就テ二ノ心アリ則佛ニ就テ深ク信シ經ニ就テ深ク  
信スヘキ旨ヲ釋シ玉ヘルニヤ乃<sup>五</sup>故ニ人ニ就テ信ヲ立ツト  
云ヘリ如是ノ一切諸佛ノ一佛モ殘ラズ同心ニ或ハ願ヲ發  
シ陀<sup>彌</sup>或ハ其願ヲ就キ<sup>迦</sup>或ハ其說ヲ證<sup>諸</sup>一切ノ凡夫念佛  
シ決定往生スヘキ旨ヲ勸玉ヘル上ニハ何ナル佛ノ又來テ  
往生スヘカヲ<sup>フ</sup>ト宣フヘキツト云理リテ以テ佛來リテ宣  
フトモ<sup>驚</sup>クカ<sup>ラ</sup>ストハ信スルナリ<sup>乃</sup>至彌陀ノ本願ヲモ深  
ク信シテ云破ラルヘカ<sup>ラ</sup>ス況ヤ一代ノ教主モ付屈シ玉ヘ  
ルチヤ況ヤ十方ノ諸佛モ證<sup>誠</sup>シ玉ヘルチヤト心得ヘキニ  
ヤ等前後對映シテ其意可<sup>レ</sup>如此二重ノ義アルカ故ニ初ニ  
亦有二種ト標シ二種深信ヲ明シ終ニハ一佛一切佛ヲ明シ  
テ結シ是名就人立信ト云標結互顯シテ以テソノ義ヲ顯ス  
順轉逆轉互相收攝ス熟思シテ旨ヲ領セヨ今此鈔ノ中深信

ニ就テ七深信六決定ヲ辨スルモノ能信ノ相ヲ主トシ順轉  
ノ義ヲ示ス然ルニ二種深信ノ如キハ疏文ノ當意一具ニ約  
シ弘願ノ信相トスルカ故ニ最初ニ其文ヲ鈔出シ明ニユ  
チ決判シ玉フ此下ハ信ニ自利<sup>及</sup>他ノ差別アルコトヲ辨セ  
ント欲スルカ故ニ七深信六決定ヲ分テソノ分齊ヲ示ス是  
以第一第二ヲ分裂シ二ノ深信トシ玉フナリ○七深信者等  
知新云疏文但初ノ二信ノ<sup>ミ</sup>一ニノ分隔アリテ第三已下  
、又隔テ置テ三四等ト云ハス由是旨之第一ハ信機第二已  
下信法ニ就テ分テ六信トス故ニ高祖疏ヲ分テ七信トシテ  
以テソノ幽致ヲ顯シ玉フノ<sup>ミ</sup>上今謂第二ヲ正シ信法トシテ  
自ラ後ニ通ス直ニ分テ六トスルモノ恐クハ疏ノ意ニ非ス  
禮讚ニ對映シ可知今按スルニ七信ノ中初ノ二信畧標ニ利  
故ニ第一ノ深信ハ自利信心也第二ノ深信ハ利他ノ信海也



ト云コノ中初ニ自利後ニ利他如文第三已下具明ニ利故ニ  
第三ニハ第四ニハ等ト云於中初ノ二信ハ第三二利兼含此中  
初ニ觀經ハ要弘兼含後ニ小經ハ其弘兼含第五已下後ニ二利  
分別於中初ニ利他第五後第七自利初ノ中初第五就第六就第六經信  
配第六可知○第一信ノ下ニ自利信心也ト云諸家不同知新錄  
ニ纂釋四ノ三義樹心智一義模象記ノ三義ヲ舉ル合七義ア  
ル中第四義ヲ優レリトレテレ取ル纂ノ三義トハ一名通  
義別至誠心ノ自利ハ是自力ナリトニ自力ヲ捨ルノ心決定スルカ故ニ三  
第二信ニ對スルニ唯自ラ機ヲ省ミル分齊ナルカ故ニ自利  
ト云然ルニ執ヲ翻ノ常經ナリト願ルハ佛智回施ナルカ故  
ニ上ニ他力ト云此三義ノ中初ノ二義ヲ破メ第三義ヲ以テ  
自ノ正義トス樹心ノ意ハ機法合スルトキハ他力ナントモ  
偏ニ自力戰悔ノ文ニ約スルトキハ自利ナリ象記ノ三義ト

ハ一信機ハ入報ノ正因ニ非ス但信法ノ方便ノミ故ニ自力  
戰悔ノ位ニ居ス二回向ノ文ナキカ故三但自身ト云テ利他  
ニ對スルカ故ニ自利トス上師說云二種相即スレハ他力至  
極ナリ義如前矣若但信機ニ信法ニ即セサレハ即是自利  
ナリ古ニ二義アリ一云但是信機ナレハ自力ノ戰悔ニ同シ  
キカ故ニ自利トス樹心一云信機即是信罪且ク信罪ヲ舉テ義  
信福ヲ攝ス故ニ自利トス二義並ニ通ス或可自力ノ行人ハ  
法實ヲ知ラス尊テ信機ニ屈ス罪福共ニ信スト雖ソノ心信  
機ヨリ生ス自ノ罪根ヲ知テソノ福ヲ信ス法實ヲ知フサル  
カ故ニ該ソレテ信機ニ屬ス是以判シ自利トス上今コレニ  
從フ



明治三十三年十月十九日出版

發行兼印刷者

大分縣平民

田丸 真 徹

下毛郡三保村大字福嶋五拾七番地

(中津交明舎印行)



